

1-2

パネルの操作

[ツール] パネルや各種パネルは、ユーザーの好みに合わせて表示方法をカスタマイズすることができます。使用頻度の高いパネル順に連結し、使用しないパネルは非表示にするなど、ワークスペースを使いやすくカスタマイズしましょう。

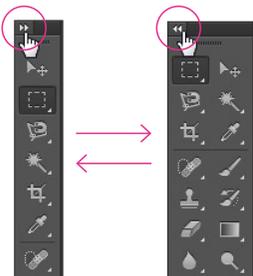
[ツール] パネルの操作

CC CS6 CS5 CS4

[ツール] パネルは、初期設定では1列ですが、2列に表示することができます。ボタンの右下に三角印の付いているツールを長押しすると、関連したサブツールが表示されるので、スライドして目的のツールを選択します。

ツールを2列に表示する

パネル左上にある2重の三角印(▶▶) ボタンをクリックして、1列または、2列に切り替えます。



サブツールを表示して選択する

右下に三角印の付いているツールを長押しして、サブツールを表示して選択します。



サブツールを順に切り替える

サブツールのあるツールを[Alt] (option) キーを押しながらクリックすると、ツールが順番に切り替わって表示されます。

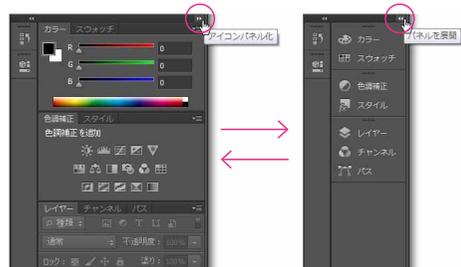
CHECK!

パネルの基本操作

CC CS6 CS5 CS4

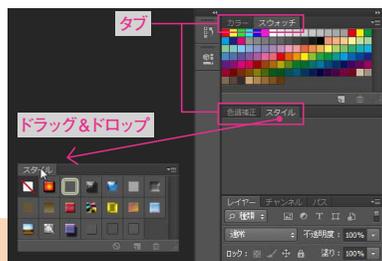
パネルの展開とアイコン化

パネルの右上部にある[アイコンパネル化] ボタンをクリックするとアイコン化され、アイコン化されているパネルの右上部にある[パネルを展開] ボタンをクリックするとパネルが展開されます(同じ位置のボタンです)。ワークスペースを広く使用したいときは、パネルをアイコン化するとよいでしょう。



パネルを切り離す

パネルは、複数のパネルグループとしてドックに格納され、タブ形式になっています。タブをパネルグループの外にドラッグ&ドロップすると、パネルを切り離すことができ、作業しやすい位置にパネルを移動することができます。



タブをドラッグ&ドロップしてドックからパネルを切り離します。

CHECK! ドックとは

複数のパネルまたは、パネルグループの集合で、通常は縦方向に並べて表示されます。

パネルを連結する・移動する

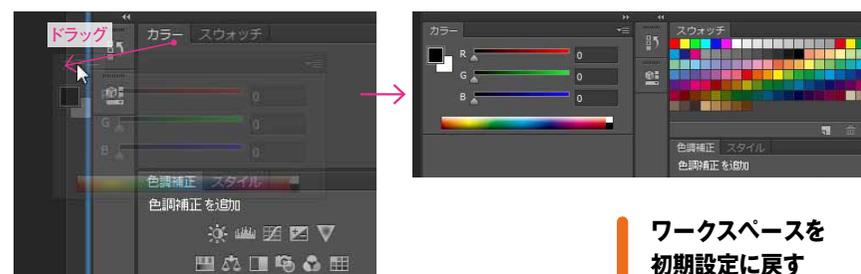
切り離れたパネルを連結するには、タブを他のタブにドラッグして、パネルの枠が青くなったらドロップします。



CHECK! タブの順序

同じグループ内のタブの順番を変更したい場合は、タブを水平にドラッグします。

パネルを切り離して新規ドックを作成する



パネルグループからパネルを切り離し、新しくドックを作成することができます。パネルをドックの左側にドラッグし、縦に青い線が表示されたらドロップします。

ワークスペースを初期設定に戻す

パネル配置を変更しても、[ウィンドウ] メニューの[ワークスペース] → [初期設定をリセット] を選択すると、初期設定の状態に戻ります。

CHECK!

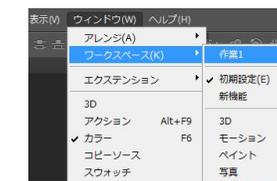
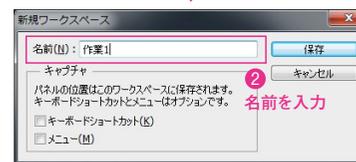
ワークスペースを保存する

CC CS6 CS5 CS4

作業しやすいようにパネルを配置したら、その状態のワークスペースを保存しておくことができます。作業の内容ごとに名前を付けて保存しておけば、カスタマイズしたワークスペースをすぐに呼び出せて便利です。



[ウィンドウ] メニューの[ワークスペース] → [新規ワークスペース] (CS4は[ワークスペースを保存]) を選択します。①。[新規ワークスペース] (CS4は[ワークスペースを保存]) ダイアログボックスで任意の名前を付けて②、[保存] ボタンをクリックするとワークスペースが保存されます。



[ウィンドウ] メニューの[ワークスペース] に保存したワークスペース名が表示され、選択すると呼び出せます。

CHECK! 不要になったワークスペースを削除する

[ウィンドウ] メニューの[ワークスペース] → [ワークスペースを削除] を選択して、[ワークスペースを削除] ダイアログボックスで、削除したいワークスペース名を選択して[削除] ボタンをクリックします。この操作は削除したいワークスペース以外のワークスペースの状態で行います。

Step 04 クイック選択ツール



- 1 [ツール] バーから[クイック選択] ツールを選びます。



- 2 ここでは花びらを選択します。花びらの一部をクリックすると選択範囲ができます。

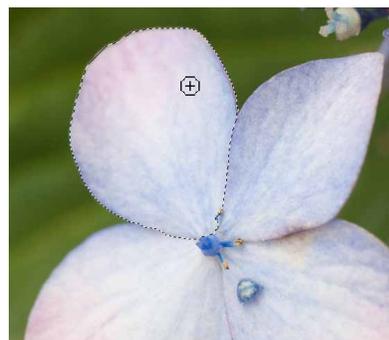


- 3 選択しやすいようにブラシサイズを調整します。



ブラシサイズはオプションバーから[ブラシピッカー]を表示し、[直径]で変更可能です。適宜調整しながら選択します。ショートカットキーは、ブラシを大きくするには直角括弧 (]) キー、小さくするには左角括弧 ([) キーです。

- 4 選択範囲を拡張します。



ポインタが[+]になっている状態でドラッグを繰り返せば、選択範囲が拡張していきます。

ショートカットキーを覚える

ちょっと間違えてしまったというような場合は[Ctrl] ([command])+[Z] キーでやり直しをしましょう。また、選択範囲がはみ出してしまったような場合はオプションバーの[現在の選択範囲から一部削除]を選び、はみ出し部分をドラッグします。ショートカットキーは[Alt] ([option]) キーです。細かい部分はブラシサイズを小さくして調整しましょう。

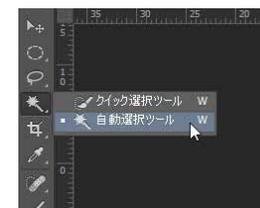


ポインタが[-]の状態ではドラッグすれば、はみ出し部分が削除されます。ショートカットキーは[Alt] ([option]) キーです。

Step 05 自動選択ツール



- 1 [ツール] バーから[自動選択] ツールを選びます。

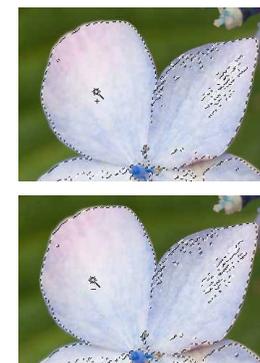


- 2 選択したい範囲内をクリックします。



ここでは花びらの選択を目標とします。選択したい範囲内をクリックすると写真のような選択範囲ができあがりました。きっちり選択できていないのは、選択にムラがあるということです。

- 3 選択範囲の追加と削除



うまく選択できなかった部分はオプションバーの[選択範囲に追加]でプラスし、はみ出した部分は[現在の選択範囲から一部削除]でマイナスします。ショートカットキーは追加が[Shift] キー、削除が[Alt] ([option]) キーです。

- 4 仕上げの方法

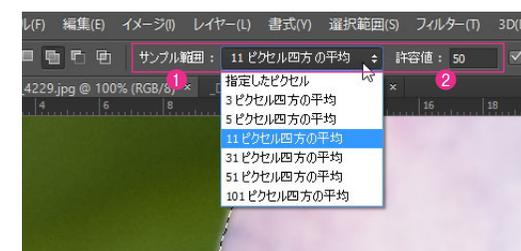


絵柄によってはこの自動選択ツールだけでは選択しにくいような絵柄もあります。たとえばある部分を選択すると余計な部分まで選択されてしまうようなケースです。そんな場合は[なげなわ]ツールを使った追加や削除なども併用するといいでしょう。

クイック選択ツールとの違いは？

[自動選択] ツールではオプションバーから[サンプル範囲の選択]ができます。ここではどの程度の範囲からサンプリングするのかの設定ができます。

このように[自動選択] ツールではクリックした場所を中心とした色が重要であり、その色に近い色が選択されます。一方、[クイック選択] ツールではドラッグした場所の色に近い色が選択されます。つまり、[自動選択] ツールよりも広い色の範囲がサンプルの対象となり、スピーディーな選択ができます。



[サンプル範囲] ①により、クリック部分を中心とした広さの設定が可能です。一方[許容値] ②では色の違いをどの程度まで許容するのかの設定ができ、この数値により、選択できる範囲も変化します。

7-4

パスからマスクを作成する

輪郭が直線や曲線で構成されている人工的な対象物(オブジェクト)に対しては、その直線や曲線をきれいに切り抜くために、パスからマスクを作成しましょう。最終的に画像合成をする場合など、よりきれいな輪郭で仕上げることが可能です。

パスを選択範囲にする

- 1 [ペン] ツールの [パス] で飛行機の輪郭に対しパスを作成します(07_401.psdはすでにパスが作成されています)。

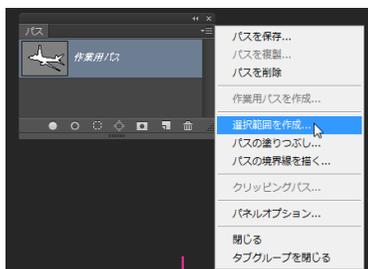
パスの作成方法については、5-4「パスの作成と編集」を参照してください。



CC CS6 CS5 CS4

Lesson07 ▶ 7-4 ▶ 07_401.psd

- 2 [パス] パネルで作成した「作業用パス」をクリックして選択した状態で、[パス] パネルのメニューから [選択範囲を作成] を選びます①。[選択範囲を作成] ダイアログボックスが表示されます。[境界] の [ぼかしの半径] で境界部分をどれだけぼかすかを設定します②。ここでは [0.5] pixelとして、ジャギーを軽減する [アンチエイリアス] にチェックを入れ [OK] をクリックします。パスの形の選択範囲が作成されます。



COLUMN

ショートカットで作成する

[パス] パネルで「アルファチャンネル1」のサムネールを [Ctrl] (command) キー + クリックすると、すぐに選択範囲が作成できます。直前の [選択範囲を作成] の設定が適用されます。



または [パス] パネルの [パスを選択範囲として読み込む] ボタンをクリックしてもかまいません。

- 3 選択範囲をアルファチャンネルとして保存します。[選択範囲] メニューから [選択範囲を保存] を選び、[選択範囲を保存] ダイアログボックスで [OK] をクリックします。[チャンネル] パネルに「アルファチャンネル1」が作成されたことを確認します。



[選択範囲] の [新規チャンネル] 以外は、[チャンネル] で既存のチャンネルを選んだ際に、現在の選択範囲をそれに対してどう適用するかを選べるようになります。



7-5

レイヤーマスクによる切り抜き合成

切り抜き合成の方法には、選択範囲をコピー&ペーストする方法とレイヤーマスクを使う方法の2種類があります。ここで紹介するレイヤーマスクを使う方法は、切り抜く前の元画像がそのまま残っているので、編集をやり直しができる点がメリットです。

Step 01 選択範囲を作ってから切り抜く



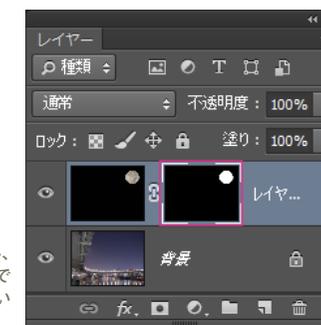
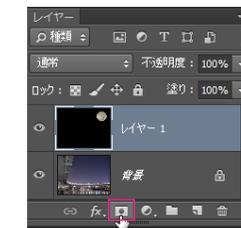
CC CS6 CS5 CS4

夜空に月の画像を合成してみましょう。

Lesson07 ▶ 7-5 ▶ 501a.psd, 07_501b.psd

レイヤーマスクの作成

- 1 月の画像(07_501a.psd)と橋の画像(07_501b.psd)の2つを同時に開きます。[移動] ツール①で [Shift] キーを押しながら、月の画像を橋の画像にドラッグ&ドロップします②。07_501b.psdに「レイヤー1」として月の画像が中央に配置されます。
- 2 [クイック選択] ツールで月の選択範囲を作成します。
- 3 選択範囲が作成された状態のまま、[レイヤー] パネルの [レイヤーマスクを作成] ボタンをクリックします。
- 4 月が切り抜かれ、橋の画像との合成画像ができあがります。[レイヤー] パネルには、「レイヤー1」に切り抜いた月の形をしたレイヤーマスクのサムネールが表示されます。



レイヤーマスクは、そのレイヤーに対し、白で表示される部分は画像が見え、黒で表示されている部分は画像が隠されている(マスクされている)ことを示します。